

# 大田区立しいのき園

## 令和3年度事業計画

### 1. 運営方針

- ①利用者さんが施設の主人公になり、自己実現の場となる施設
- ②生き生きと過ごし、働く喜びを実感できる施設
- ③地域の中で働く、明るく楽しい施設

### 2. 職員等配置計画

職員 14名      非常勤職員 3名      嘱託医 2名      合計 19名

### 3. 今年度の重点目標

法人重点推進事項 (3)質の高い支援(虐待防止、権利擁護) (4)福祉人材の確保・育成・定着			取組時期
1	職員のチーム力・専門性の向上による権利擁護・虐待防止の推進	内容 ・自己決定・意思決定支援により利用者の主体性を尊重した支援 ・事例検討を通じて、利用者支援・チーム支援を向上 ・事業所虐待防止・人権委員会定期開催および身体拘束適正化の推進 ・虐待防止セルフチェックの定期的な実施 ・しいのき園利用者対応基本マニュアルの見直し ・事業所間交流研修の実施	通年
法人重点推進事項 (1)事業の機能強化 (3)質の高い支援(虐待防止、権利擁護)			
2	利用者の高齢・重度化によるニーズを踏まえた作業・生活支援	内容 ・休日の余暇活動支援の検討 ・送迎支援の検討 ・作業種の開拓 ・安全安心な作業環境の整備	通年
法人重点推進事項 (1)事業の機能強化 (3)質の高い支援(虐待防止、権利擁護) (5)活力ある組織・経営基盤づくり			
3	利用者ニーズに合わせた社会資源の利用促進、関係機関との連携強化	内容 ・相談支援・地域生活支援・介護事業等・行政との連携を強化し、多様なニーズに対する支援およびサービス利用の促進	通年

法人重点推進事項 (1)事業の機能強化 (3)質の高い支援(虐待防止、権利擁護)				
4	利用者工賃アップの取り組み	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業工程・マニュアルの見直し</li> <li>・利用者の作業スキルへの支援</li> <li>・新たな生産活動と販売機会の拡充に向けた取り組み</li> <li>・自主生産品の新商品開発</li> </ul>	通年
法人重点推進事項 (2)地域公益活動の推進 (5)活力ある組織・経営基盤づくり				
5	地域貢献と社会参加の取り組み	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域イベントへの参加、協力による地域交流機会の拡充</li> <li>・充実した施設開放への取り組み</li> <li>・ボランティア、研修生の積極的な受入</li> </ul>	通年

#### 4, 利用者受入・工賃計画 (4月1日現在)

在籍者	56名	新規利用者	2名	定員	60名
年間開所日数	245日	利用率目標(在籍)	86%(昨年度比 同率)		
目標平均工賃	29,000円	前年度上期平均工賃	24,782円		

#### 5, 年間行事計画 (詳細別紙)

4月	入所式	10月	第40回糶谷文化センターまつり しょうがい者の日のつどい
5月		11月	宿泊訓練 糶谷地区一斉防災訓練
6月		12月	糶谷小学校による施設見学会 忘年会(お楽しみ会)
7月	法人職員全体研修 利用者健康診断	1月	成人・新年を祝う会
8月	「福祉のまち糶谷」第8回夏のおまつり	2月	20周年行事
9月		3月	お楽しみ会

※グループ外出は、年1回実施

#### 6, 権利擁護・虐待防止の取り組み

\*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「虐待防止に向けた体制づくりと組織の取り組み・仕組み等の活性化」

	実施項目	具体的取組
1	虐待防止 権利擁護	<p>「徹底した現場主義の事例検討を軸とした(寄り添う)伴走型支援で自立型権利擁護へ転換を推進する」</p> <p>*「虐待防止対応要綱」に基づく法人および事業所虐待防止・人権委員会の取り組みの推進</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 徹底した現場主義に基づく事例検討会の実施</li> <li>* 「法人サービス利用者の権利擁護規程」「社会福祉法人大田幸陽会サービス提供ガイドライン」等を踏まえた支援</li> </ul>
2	苦情解決	「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて適切に対応
3	個人情報保護	「個人情報保護規程」および「特定個人情報取扱規程」に基づいて適切に対応

## 7. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修計画(\*事業所計画)

\*平成 31 年 3 月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み  
「専門性に基づく支援のスーパーバイザー育成」

	実施項目	具体的取組
1	OJT・職場内研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虐待防止・権利擁護に関する研修、法令遵守関係（就業規則・サービス提供ガイドライン等）、障害特性・支援技術に関する研修</li> <li>・ 防災・応急救護に関する研修、感染症対策・保健衛生に関する研修、働き方改革関連、法人共通ガイドラインに沿った新任職員 OJT と面談の実施</li> </ul>
2	外部研修	障害特性・専門性向上に関する研修、東社協キャリアパス対応生涯研修課程、人権研修、サービス管理責任者、相談支援専門員初任者研修、強度行動障害者支援関係の研修 *その他、職員希望に沿った受講促進
3	自己研鑽支援	資格取得奨励金制度の周知、資格取得に関する対策講座等の情報提供、書籍等の購入や貸し出し・回覧

## 8. 地域公益活動の推進

	実施項目	具体的内容
1	地域まつり	「福祉のまち糶谷」第 8 回夏のおまつり(8 月 22 日予定) 第 40 回糶谷文化センターまつり(10 月 3 日予定)
2	地域貢献	施設開放 近隣施設・団地清掃

## 9. 地域・関係機関連携

	実施項目	具体的内容
1	地域交流・連携	糶谷小学校による施設見学・作業体験、地域一斉合同防災訓練
2	福祉人材受入	地域ボランティア、相談援助実習、介護等体験、保育士実習
3	広報活動等	園だより、ホームページ更新、自主生産品パンフレット

## 10. 法令遵守に関する取り組み

\*平成 31 年 3 月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み  
「経験職員等の多様な人材を活かしあう事業所づくり」

	実施項目	具体的取組
1	法令遵守	法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規程等に基づき適切に対応、

		「法人ハラスメント防止規程」に基づき、ハラスメントの防止策に取り組む
2	「働きやすい職場」づくり	「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」の継続した取り組み推進及び、「働き方改革」に対応した法人の取り組みとの連携

### 1 1, 危機管理計画

	実施項目	具体的取組
1	事業継続	事業継続（BCP）に関する事項の整備、感染症対策
2	防災関連	定期防災訓練・福祉避難所開設検討会および訓練、・地域一斉合同防災訓練に参加
3	緊急時対応	「緊急時対応マニュアル」により対応、応急救護、防犯に関する訓練の実施

### 1 2, その他

令和元年度福祉サービス第三者評価受審結果を踏まえた改善計画に基づき、サービス向上に向けた取り組みの実施

○特に良いと思われる点

タイトル1	組織内の協働・連携が、各職員が力を発揮しやすい環境につながっている。
内容	引き続き、職員間のチームワークを意識しフォローを積極的に行ない、支援でのチーム力向上を目指していく。
タイトル2	利用者の状況を的確に把握し、支援に活かす取り組みがある。
内容	相談支援事業所との連携を図りながら、個別支援計画を作成していくことで、職員が個々の利用者像や必要な支援に対する理解を深めている。
タイトル3	日々の業務を通して、また、個々の力を見極めながら、職員の育成を図っている。
内容	引き続き、法人内のOJTの仕組みを活用しながら、会議内での内部研修や事例検討など行なうことで、業務遂行上必要とされる力を着実に身につけていけるよう取組んでいく。

○さらなる改善が望まれる点

タイトル1	将来を見据えて本人が必要な選択肢を利用できるよう、家族の理解を促進していく。
内容	利用者家族の高齢化を踏まえた各種サービスの情報提供等、利用者本人の利益に資する選択を支援していくために、家族に対するアプローチを継続していく。
タイトル2	自分たちの出来ていることを認める。
内容	一人ひとりの特性に応じて選択できる多様な作業・活動メニューの設定、商品開発における創意工夫など。
タイトル3	利用者の状態像の変化を前提として、今後の作業・活動のあり方を検討していく。
内容	利用者の高齢化やそれに伴う身体状況の変化など長期的な視点に立って、利用者の将来像をイメージし、作業や活動内容を検討する。